操作手順

●安全のため各操作は介助の方が確実に行ってください。

操作手順の動画はこちら

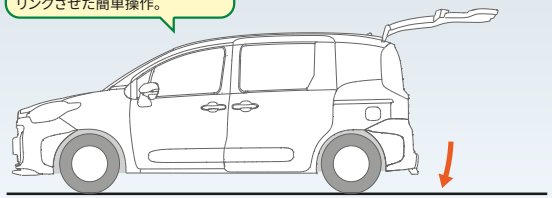
※写真は乗り込み時の手順を説明しています。降りられる場合は基本的に逆の手順になりますが、一部手順が異なる場合があります。　[参考]写真の車いす乗車モデルの身長は115cmです。

1.5 列目乗車

■車高降下を行う場合は、必ず下記の状態にしてください。
●エンジンをかけた状態で車両を停止させる。　●パーキングブレーキをかける。　●シフトレバーを「P」位置にする。

1 後部の車高を下げる

POINT
バックドアの開閉と車高の昇降をリンクさせた簡単操作。



POINT
「エアサスペンション」による、ゆるやかな車高降下。

①助手席を折りたたみます。
※前輪固定フックは、助手席の下に収納されています。

車高切替スイッチ
※車高切替スイッチを使って車高を下げることもできます。

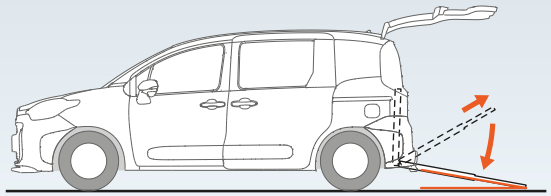
②バックドアを開けると自動的に車高が下がります（連動モード時）。
（車高は下がりきると自動停止します）

各スイッチの取付け位置

❶車高切替スイッチ

❷固定・解除スイッチ（1.5列目用）

2 乗り込みの準備をする



POINT
なだらかなスロープ角度（9.5°）。

ロック解除レバー

③スロープが前倒れ状態になっている場合は垂直に起こします。スロープを支えながら、ロック解除レバーを引き上げてロックを解除し、スロープの取っ手を持って車外へ最後まで引き出します。
※スロープは二重になって格納されています。

※全幅500～560㎜の車いすで1.5列目に乗車する際は、販売店装着オプションのスペースアッププレートが必要です。

※販売店装着オプションのスペースアッププレート装着時。

※車いす乗り入れ後は、シートベルト装着のためスペースアッププレートを外してください。

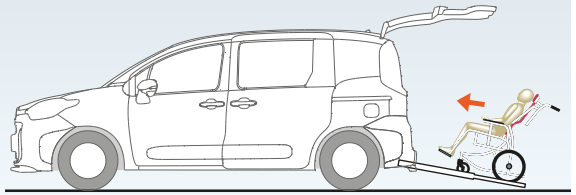
操作手順

●安全のため各操作は介助の方が確実に行ってください。

操作手順の動画はこちら

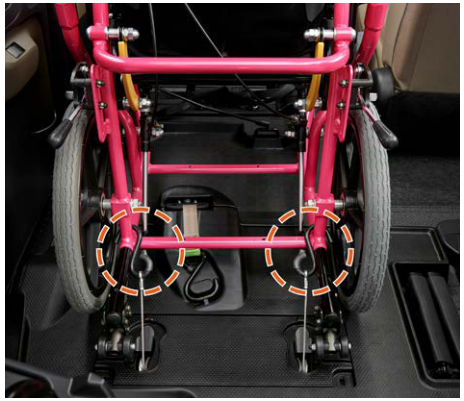
※写真は乗り込み時の手順を説明しています。降りられる場合は基本的に逆の手順になりますが、一部手順が異なる場合があります。　[参考]写真の車いす乗車モデルの身長は115cmです。

3 車いす乗車のまま車内に乗り入れる



④車いす乗車のまま車内に乗り入れます。
※セーフティベルトは使用しません。

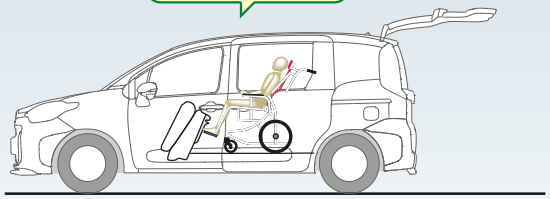
⑤車いすの前輪接地部に、フロアの車止めがあたる所で車いすのブレーキをかけます。



⑥車いす固定装置（1.5列目用）のフックを取り出し、車いすの後部フレーム（左右2か所）に掛けます。

4 車いすを車内に固定する

POINT
運転席から車いす乗車の方に手が届くので安心です。



⑦車いす用シートベルトを着用します。

⑧スロープを格納し、バックドアを閉めると自動的に車高復帰します（連動モード時）。
（車高は上がりきると自動停止します）
※車高切替スイッチを使って車高を復帰することもできます。

POINT
車いす用シートベルトバックルが自立するので、片手で脱着が可能です。

⑨運転席に戻り、前輪固定フックを掛けます。（左右2か所）

⑩助手席側面の固定・解除スイッチ（1.5列目用）を押し、車いすの後部を締めつけ、しっかり固定してください。
※左前輪固定フックは、サポートバーから外して使用することができます。その際は、助手席ドアを開け左前輪固定フックを掛けてください。サポートバーが車いすに干渉する場合は、外してご使用ください。

固定・解除スイッチ（1.5列目用）

POINT
スイッチひとつで車いすを電動でしっかり固定。

車高復帰

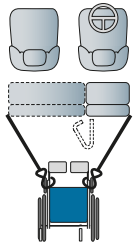
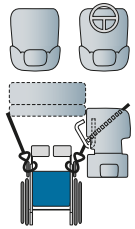
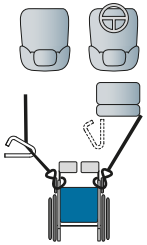
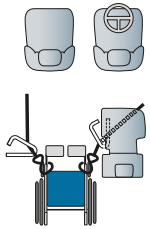
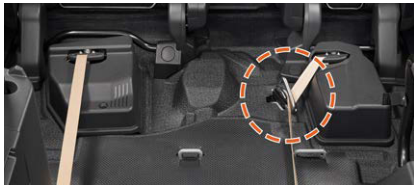
乗降が終わり、再び車両を動かす前に、必ず車高を復帰させてください。

万一、車高復帰を忘れた場合、シフトレバーを「P」レンジ以外へ操作した時点で「車高復帰忘れ防止機能」が働き、車高を自動復帰させます。

2列目乗車　2列目ご利用の場合の操作手順は、タイプⅠと同様です。

セーフティベルトガイドの使い方

車いすの種類と運転席側セカンドシートの使用状況によって、セーフティベルトガイドを下記のようにお使いください。タイプⅠ・タイプⅢは中央に1か所、タイプⅡは左側と中央の2か所に設置。

	タイプⅠ・タイプⅢ		タイプⅡ	
ガイドの使い方	 運転席側セカンドシートを使用しない場合 ↓ **セーフティベルトガイドは使用しません**	 運転席側セカンドシートを使用する場合 ↓ **セーフティベルトガイドを起こして使用してください**	 運転席側セカンドシートを使用しない場合 ↓ **左側のセーフティベルトガイドを起こして使用してください**	 運転席側セカンドシートを使用する場合 ↓ **両側のセーフティベルトガイドを起こして使用してください**
				

※写真はセーフティベルトガイドの機能を説明するため、セカンドシートをタンブル状態にしています。